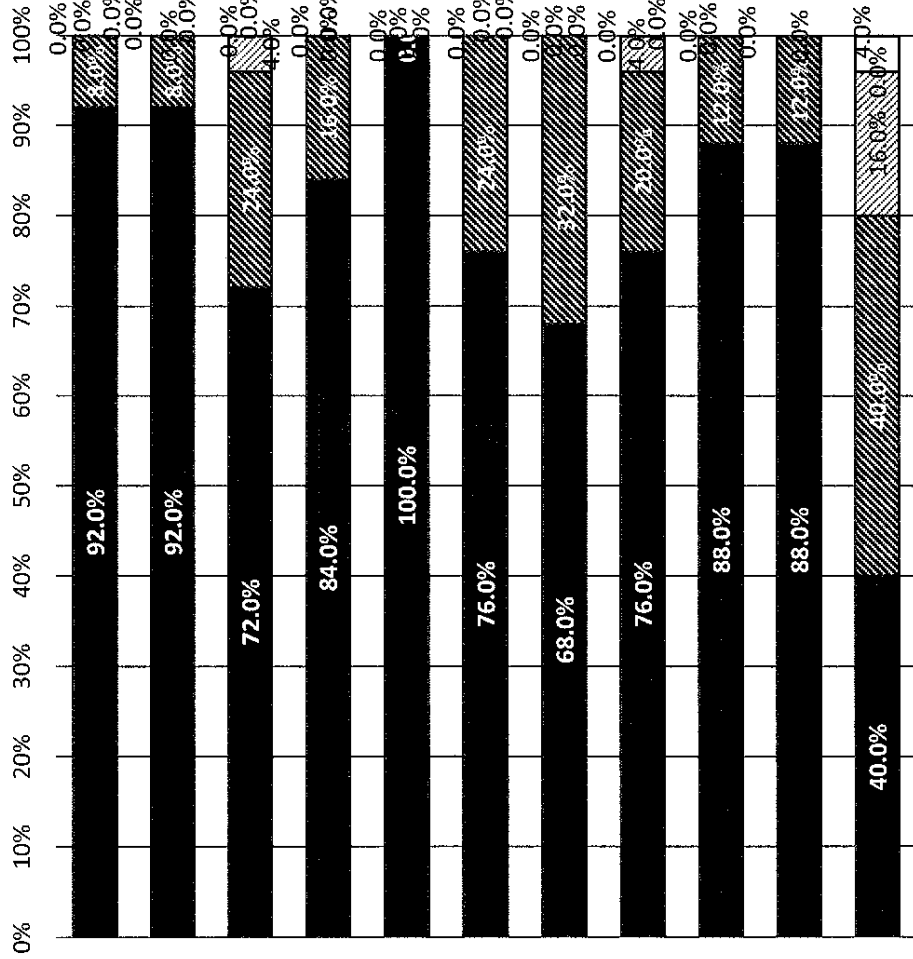


令和5年度 学校評価 教員アンケート

令和6年1月 小金井第二小学校



学校は、偏見や差別の解消に向けた道徳、学級活動、特別支援理解授業を実施し、児童の人権尊重の態度を育成している。

学校は、いじめ調査を定期的に実施し、丁寧な聞き取りを行い、実態を把握し、対応している。

教員は、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善に取り組み、教員同士、授業公開を行っている。

学校は、外部講師を招いた授業を年間1回以上計画し、実施したり、体験活動を充実させたりしている。

学校は、学校だよりや学年だより、ホームページ、スクールメール、校内掲示等を活用し、定期的に情報発信を行っている。

教員は、ICT機器・デジタルコンテンツ等を授業で活用し、教員間で情報共有を図っている。

学校は、「ICTを活用した授業研究」の校内研究を生かしながら、児童一人一人にめあてをもたせ、授業改善に取り組んでいる。

学校は、「ICTを活用した校務改善」の校内研究を生かしながら、校務のデジタル化や効率化に取り組んでいる。

学校は、朝読書や読み聞かせ、読書週間を設定し、児童の読書習慣定着に努めている。また、学校図書館や学級文庫を整理するなど環境整備に努めている。

学校は、芝生維持に係る児童の環境教育を推進し、全教職員が整備にあたっている。

教員は、小金井ハチドリプロジェクトの計画を進めている。

■ 思う □ やや思う □ あまり思わない □ 思わない